

3月議会で日本共産党市議団は2人が一般質問を行いました

## 高齢者が安心して暮らせる地域へ認知症対策などの取り組み推進を

**鈴木** 認知症の理解と取り組みの推進について。世田谷区では認知症とともに生きる人の権利を尊重することなどを内容とする「認知症希望条例」を制定している。本市でも検討する考えはないか。

**健康福祉部長** 世田谷区の理念は、国の認知症施策推進基本計画「新しい認知症感」につながる。改めての条例制定は考えていないが、理念を踏まえ理解と取り組みの推進に努めたい。

**鈴木** 認知症への備えとして世田谷区の「私の希望ファイル」のような施策の検討を要望する。ところで、賃貸住宅で一人暮らしをする高齢者からの相談が増加。支援について見解はどうか。

**健康福祉部長** 法改正で高齢者など住宅確保要配慮者の受け入れ促進を図ることとされた。「住宅確保要配慮者住居支援協議会」の設置などを研究する必要がある。

**鈴木** 現時点で既に深刻化している。窓口への住宅ソーシャルワーカーの配置や不動産業者団体への協力要請、

公的保証人制度の具体化など、迅速な対応を要望する。

## 地球温暖化への対策を

**鈴木** 林野火災が大規模化し頻発しているが、その背景には深刻化する地球温暖化が影響している。本市の第3次環境基本計画の取り組みはどうか。

**市民生活部長** これまでの事業に加え、電気自動車の導入、ソーラー蓄電池ステーションの開設に向けた基礎調査などを推進する。

**鈴木** 市民や事業者に広げることが重要。ゼロカーボンシティ宣言の目標達成への取り組みはどうか。

**市民生活部長** 目標は基準年2013年度比で2030年度は50%削減、2050年度にカーボンニュートラルを実現。市民、事業者、行政が一体に、持続可能な環境にやさしいまちづくりを加速化させたい。



### 【鈴木さとしのプロフィール】

- 岩手県出身 新潟大学法學部卒 (株)第一経営相談所勤務 行政書士
- 現在、市議6期、党市議団長 教育まちづくり常任委員会委員
- 中央在住 TEL・FAX444-6957
- 主な活動地域 塚越2・3・6・7丁目 中央1・3・4・5丁目



## やまわき紀子議員の一般質問項目

- ◆ごみ資源かごの軽量化、年末年始の回収の問題など
- ◆蕨市立病院を国民健康保険診療施設として位置づけることについて
- ◆健康アップ事業（歯周疾患検診の充実、母子手帳アプリの導入など）
- ◆「子育てするならわらび」子育て支援策の充実を

## ◆◆ 日本共産党市議団の論戦 ◆◆

### 最低賃金引き上げを求める陳情に賛成討論

国に「物価高騰を上回る最低賃金の引き上げ」などを求める意見書の提出を求める陳情。日本共産党は、その必要性とともに、財源として史上最大となっている大企業の内部留保の活用を訴えました。しかし新翔会・公明党・維新の会が反対し、不採択となりました。



### 附帯決議の矛盾が明らかに質疑・反対討論

新翔会の提案、公明党・維新の会の賛成で採択された附帯決議は「新病院建設基本設計」に関して「プロセスの不備」などとしています。日本共産党は質疑を行い、手順にも議会などで説明されてきた内容にも問題がないことを明らかにし、決議への反対討論を行いました。